

2016年度 九経調地域研究助成・顕彰事業 概要と審査結果、研究発表会

当会は、九州の地域経済の振興に関する事業の実施と助成を活動目的の1つとして、2014年度より、「地域研究助成顕彰事業」に取り組んでいます。同事業では、九州の地域浮揚に向けて幅広く知恵やアイデアを募集し、実践する研究者、政策担当者、民間企業人の発掘を目指します。

2016年度は、九州の地域浮揚に関する研究テーマの論文が36本集まりました。2016年8月10日に開催された第1回九経調地域研究助成・顕彰委員会において、このうち助成先を5本に選定した後、理事会にて正式決定しました。翌2017年2月13日には、第2回九経調地域研究助成・顕彰委員会においてこの5本の論文と、自由応募論文1本、合計6本の論文を審査し、みぞえ賞（最優秀賞）、溝江建設賞（優秀賞）、奨励賞を選定した後、3月10日（金）の理事会にて正式決定しました。3月23日（木）には、各賞の顕彰と研究発表会を開催しました。なお、各賞の受賞者には賞状と盾、そして溝江建設（株）（福岡市）より副賞が贈呈されました。

本月報では、みぞえ賞（最優秀賞）「潜在的就業女性達のキャリア開発が創業拡大にもたらす経済価値の試算」と、溝江建設賞（優秀賞）「ユニバーサルデザインが生み出す市場と経済性～九州における高齢者・障害者市場を開拓する経済成長戦略～」[『着地型観光』による離島・半島の地域活性化と次世代モビリティが果たす役割についての検討～天草地域を事例として～]の概要レポートを掲載します。

<研究発表内容>

審査結果	テーマ	発表者
みぞえ賞 (最優秀賞)	潜在的就業女性達のキャリア開発が創業拡大にもたらす経済価値の試算	NPO 法人ママワーク研究所 理事長 田中 彩
溝江建設賞 (優秀賞)	ユニバーサルデザインが生み出す市場と経済性 ～九州における高齢者・障害者市場を開拓する経済成長戦略～	(株) ミライロ福岡支店 ディレクター 梶尾 武志
	「着地型観光」による離島・半島の地域活性化と次世代モビリティが果たす役割についての検討 ～天草地域を事例として～	九電テクノシステムズ（株） 理事 熊本支店長 鶴岡 良一
奨励賞	クルーズ500万人時代に向けた九州地区の受入体制整備 ～地域DMO および政府への提言～	(株) JTB九州 コミュニケーション事業部 マネージャー 前嶋 了二
	南海トラフ巨大地震を見据えた津波防災とグリーンインフラの検討 ～地域伝承を踏まえた防災の最適解と新産業の創出を求めて～	九州大学 芸術工学研究院 准教授 藤田 直子
	人口減少社会での新たなテクノロジー活用に向けた提言 ～フランス ボルドーメトロポールの取り組み事例を踏まえて～	福岡地域戦略推進協議会 平山 雄太

注) 受賞者の所属・役職は2017年3月23日時点のもの